

【図書館／関連団体／その他関連事業】

●かわだ文庫

河和田地区において、読書活動を通じて心豊かな子どもたちの発育を支援することを目的として、平成5年、地区内の母親を中心に発足しました。

河和田公民館内文庫の部屋は、子どもたちが読書に親しむだけでなく、母親への育児支援やコミュニケーションの場でもあり、世代を超えて利用される交流の場となっています。市の東端にある河和田地区在住で図書館への来館が困難な方には、図書館分館としての機能も果たしています。

2018年度は河和田コミュニティセンターが大規模改修工事のため、中山公園レストハウスにて、5月の連休明け～11月末まで、毎週土曜日にかわだ文庫を開催しました。



かわだ文庫の部屋にて

【主な活動】

- ・かわだ文庫の部屋での図書貸出・返却、書棚整理（毎週土曜）
- ・河和田小学校での読み聞かせ（年30回）
- ・お楽しみ会（年4回）
- ・地区内外の保育園、児童センターなどでの読み聞かせ（随時）
- ・文庫新聞発行（不定期）
- ・おはなし会（年4回）

図書館では、かわだ文庫蔵書のデータ登録、図書館ハンディ端末を利用した蔵書の貸出・返却データ管理、年1回の図書館蔵書点検にあわせての蔵書の点検、選書・配架などへの助言、図書館蔵書の長期貸出などの協力を行っています。

●さばえっこ図書ボランティアネットワーク

学校と地域が協力して学校図書館ボランティア活動を行うことで、子どもが本に親しむ環境を整備し、子どもの健全な育成を図ることを目的として平成20年3月に設立されました。学校での読み聞かせボランティアや読書を通して心豊かに育ててほしいと願う地域の大人が、情報交換や学習会など校区の枠を越えて子どもの読書推進活動に取り組んでいます。

【主な活動】 研修会（年4回）／講演会（年2回）／広報誌発行（年3～4回）など

子どもゆめ基金助成活動として平成30年度は3回の研修会を開催しました。

①「本と出合える喜びを」～子どもの育ちを支えるために～

2018年6月10日（日） 講師：坪川 祥子先生（いちのすけ文庫主宰、ふくい子ども文庫連代表）

②「絵本の読み聞かせ実技と交流会」

2018年10月27日（土） 講師：中川 朋世司書（鯖江市図書館）

③「昔話と日本人の心」

2019年1月12日（土） 講師：中川 直美先生（和 yawaragi塾主宰）

図書館では、さばえっこ図書ボランティアネットワークの研修会・講演会への会場提供、研修会での講師派遣、学校読み聞かせボランティアへの図書貸出期間を団体同様30日とするなど、読み聞かせ技術向上やボランティア交流への協力を行っています。

●えきライブラリー tetote(テトテ)

2015年1月、JR鯖江駅2階に「えきライブラリー tetote (テトテ)」がオープンしました。この事業は、2013年の鯖江市地域活性化プランコンテストで学生より提案のあった「JR鯖江駅2階の空きスペースを有効活用し、まちづくりにつなげる」というプランをきっかけに実現したものです。市内2つのNPO団体からなる協働事業体が運営にあたります。



施設には図書館の蔵書(約900冊)が設置され、カフェで食事を楽しみながら本を読むことができます。貸出、検索、返却も可能です。インターネットで予約した本を受け取ることができます。夜はライブスタジオの機能も有し、新たな駅前の賑わい拠点として、市の玄関口の活性化にもつながるものと期待されています。



2018年度 実績	貸出	666冊
	返却	1,071冊
	インターネット予約 tetote受取本 (※年度内に受付けた数)	358冊

旅行やビジネス、ティーンズコーナーなど、駅を利用する方を想定し、図書館職員で本をセレクトしました。

2016年9月29日より、
図書館のカウンターや
電話で予約した本を
受け取ることができる
ようになりました。

※【返却】 設置された返却boxへ返された本の数。

図書館では、tetote 設置本のデータ登録、図書館ハンディ端末を利用した蔵書の貸出・返却データ管理、展示本の定期的な入替、インターネット予約本の受取手配などの協力を行っています。

●夢みらい館さばえへの図書貸出

図書館では、夢みらい館さばえに奇数月第2金曜に図書を貸出しています(一般向け170冊・児童向け30冊、計200冊)。貸出図書は、一覧データにより夢みらい館さばえが管理・運用しています。

夢みらい館さばえ来館者の閲覧や近隣在住の高齢者の利用があり、図書館への来館が困難な人々への読書機会の提供に寄与しています。

